学年	教　科	科　目	教科書名	副教材名
高１ 総合進学	国語	現代の国語	現代の国語 （東京書籍）	下記参照

１．授業のねらい

・言葉による見方・考え方を身につけ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養う。
・実社会に必要な国語の知識や技能を養う。
・論理的な文章の内容を理解し，理解したことを自分なりに考え，自己の世界や思考を拡張する。
・表現の多様性や様々な考えに触れ，言葉が持つ価値への認識を深めるとともに，言葉を通して表現する能力を養う。

２．授業のすすめ方

・単元に応じて，予習(漢字練習・意味調べ等)をしておくことを前提とします。
・授業を進めるにあたり，教科書・ノート・資料集を準備しておくこととします。
・教材によっては，理解を深めるために電子黒板やタブレットを利用し，主体的・能動的な学びができるような機会を設けます。タブレットを使用してコメントや解答の提出を求めます。

３．学習上の留意点

・授業では多くの文章に触れる機会を増やすので，事前に熟読をしておくことが望ましい。
・授業に能動的に関わってもらうため発言やコメントを求めます。そのための道具としてタブレットを持参しておく。
・スタディサプリが使用できるので、積極的に取り組むこと。課題とすることもあります。

４．副教材

『大学入試に出た　核心漢字　２５００＋語彙１０００』（尚文出版）
語彙を増やすとともに漢字の知識を身に付けるために活用する。小テストのテキストとしても使用する。３年間継続使用する。
『基礎現代文』（尚文出版）
２４００字ほどの論理的文章や文学的文章に取り組むことで、読解力・表現力・記述力・語彙力といった現代文の基礎学力を養う。また,書く力を養うために,百文字の要約をおこなう。
『新国語総合ガイド　五訂版』（京都書房）
文章を読む際に必要な知識や文学史などを体系的に理解するために使用する。３年間継続使用する。

５．評価方法

・定期考査，小テスト，授業（タブレットを使った発表等）で判断します。
・定期考査は 100 点満点で年に 5 回行います。
・平常点は 1 学期・2 学期 20 点，3 学期 10 点でつけます。課題の提出状況，確認テスト，小テスト，授業（プレゼンテーション，発言等）を総合的に評価します。
・小テストでは漢字・語彙について出題します。※範囲及び実施日は後日配布する予定表を見てください。
・定期考査，平常点を基に「知識・技能」,「思考・判断・表現」,「主体的に学習に取り組む態度」の３観点について学年末に評価します。

６．定期考査

教科書の内容から出題します。応用問題も出題します。
※　状況によって多少の変動がある場合があります。
1 学期中間考査　　評論　，　応用問題
1 学期期末考査　　評論　，　応用問題
2 学期中間考査　　評論　，　応用問題
2 学期期末考査　　評論　，　応用問題
3 学期期末考査　　評論　，　応用問題

指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	四月 五月 六月 七月	評論１ 〇自己と他者 ・文章の内容を叙述に即して的確に読み取り，必要に応じて要約する。 ・接続詞の用い方や二項対立での論の展開などに注目しながら，評論文の基本を学習する。 ・筆者の主張を踏まえて，自身で意見をまとめた文章を書く。 ・目的や相手に合った分かりやすい説明について考える。 評論２ 〇認識を深める ・語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方など を理解し語彙を理解する。 ・長めの文章であっても，主題を的確に把握できるように読解する。 ・筋道を立てて物事を考察し，論述することの意義と大切さを理解する。	小テスト 定期テスト 問題集 ロイロノートによる提出物	・文章の構成や展開を確かめながら，筆者の主張を読み取る。 ・二項対立や接続詞による文章構成などから筆者の主張をおさえ，その内容を主体的に考察する。 ・分かりやすい説明や表現について考察する。 ・理解・表現する上で必要な語彙力を養う。
二学期	九月 十月 十一月 十二月	評論３ 〇言葉と社会 ・筆者の主張を的確に読み取り，必要に応じて要約する。 ・筆者のものの見方や感じ方，表現の特色に注意して読解する。 ・他の言語や社会と比較することで，さまざまな事柄に対する問題意識や考え方があることを理解する。 評論４ 〇共に生きる ・抽象度の高い文章を的確に読解する。 ・比喩や具体例などの文章表現，図表や写真などの説明資料について学習する。 ・具体例や引用の意味を押さえながら，論旨を正確に読み取る。	夏季課題 小テスト 定期テスト 問題集 ロイロノートによる提出物	・筆者独自の考え方や見方を通して，さまざまな事柄に問題意識を持ち，ものの見方を養い，自らで考える力を養う。 ・文章や図表などに含まれる情報を関係付けながら，筆者の意図を解釈し，主張を読み取る。 ・理解・表現する上で必要な語彙力を高め，表現効果や資料の活用について考察する。
三学期	一月 二月 三月	評論５ 〇世界を広げる ・筆者のものの見方，主張の展開の仕方を学び，表現も考える。 ・文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や筆者の意図を解釈し，文章の構成や論理の展開について考える。 ・筆者の主張を読み解き，自身で意見をまとめた文章を書いたり，意見交換をしたりする。	冬季課題 小テスト 定期テスト 問題集 ロイロノートによる提出物	・文章の構成や展開を意識しながら，論理的な文章を書く方法を学び，そこで扱われている問題に関する考察を深める。 ・分かりやすい説明や表現を工夫したり，話し合いの仕方や結論の出し方を工夫したりする。

※シラバスの内容（時間や事項）については，理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。